

さつま町 観光戦略 具体的アクションプラン【案】

2019年4月～2020年3月

1. 基盤整備事業

①拠点整備・運用

…宮之城鉄道記念館2Fを様々な活動の拠点として整備・運用する。

- コワーキング機能
- パーティ／コミュニティ機能
- スタジオ機能 ほか

②運営チームの組織化

…観光未来研究室の運営メンバーの選定と、運営手法の検討

- 観光協会との連携の在り方検討
- 収益事業のテストマーケティングによる「稼ぎ方」検討

③情報発信インフラの整備

…観光未来研究室に関するを中心に、さつま町の観光関連情報を発信するプラットフォームメディアの整備

- Blogメディアの設計
- ライターの養成
- SNSでの情報発信
- まちづくり企画合同記者発表

2. 戦略的プロジェクトの実行支援

①ひかり感じる体験プロジェクト

…最高の朝体験を生むイベントの企画と運用

- 朝ごはんプロジェクト
- 朝マルシェプロジェクト

②世界の癒しプロジェクト

…海外からの観光客や移住者がさつま町を満喫できるような環境づくり

- 在留外国人へのフォロー
- インバウンド観光客へのサポート

法人化

正式
メニュー
化

2020年4月～

町民

役場

観光協会

商工団体等

連携

(仮称) さつま町観光未来研究所

●一般社団法人、NPO法人、合同会社、株式会社等にかしらの法人格を有する

●主要業務は、下記を想定

1. 観光関連のプロジェクトをすすめる拠点の運用
2. 観光関連の各団体（役場、協会、商工会など）との連携
3. 観光関連業務の情報発信
4. さつま町の多様な主体によるコミュニケーションの機会づくり
5. さつま町観光戦略ビジョンにおける戦略的プロジェクトの実施主体化

【収益モデル】

①イベント運営

→朝ごはんイベント、朝マルシェなどの運用に関する収入

②広報媒体運用

→Web媒体を中心としたSNS連携広報による広告費収入

③拠点運営

→会費や利用料収入

④会費収入

→加盟企業や個人からの負担金収入